

フレキシブルセラミックスコーティング 技術と有機・無機ハイブリッド フレキシブルデバイスの新展開

Call for Papers

<Scope>

フレキシブルデバイス研究は、高分子などフレキシブル基板上へ有機エレクトロニクス材料を構築する先行研究に加え、多彩な新機能が期待される無機薄膜を用いて磁性、光物性といった無機材料特有の電子物性をフレキシブル化することも注目を集めています。我が国は伝統的に強誘電体、超伝導体、超巨大磁気抵抗効果や熱電材料など、機能性セラミックス材料の分野において世界をリードする国際水準の研究成果を挙げ続けており、機能性セラミックス材料をフレキシブル材料表面にコーティングする技術が物性物理学、材料科学、デバイス工学など多角的な視点から、特に創電や医療などの分野において我が国の独自研究として飛躍的に進歩すれば、我が国の機能性物質科学における新たなブレイクスルーと国際社会への貢献が大いに期待できます。



by Satoru Kaneko
(KISTEC)

2018年 第65回応用物理学会春季学術講演会

開催場所：早稲田大学・西早稲田キャンパス

日時：2018年3月18日(日) [応物は17~20日]

登壇申込締切：2018年1月16日(火)



応用物理学会では、毎年、春と秋に学術講演会を開催しています。春季は約7,000名、秋季は約6,000名が参加し、4,000件におよぶ講演と活発な討論が行なわれます。

今年は早稲田大学・西早稲田キャンパスで開催です。

SUBMISSION

一般講演の登壇者は、応用物理学会正会員・学生会員、および応用物理学会の協定学会会員に限り、登壇いただくためには以下のURLから登録をお願いします。

<https://meeting.jsap.or.jp/entry>

登録の際には分科会シンポジウム「フレキシブルセラミック」をお選びください。

Invited Speakers

山本哲也 (高知工科大)
横田知之 (東大院・工)
田口哲志 (物材機構)
舟窪浩 (東工大)
鈴木真也 (東大)
奈良崎愛子 (産総研)
幸塚広光 (関西大)
河本邦仁 (豊田理研)
穴戸厚 (東工大)
今中佳彦 (富士通研究所)
宮崎康次 (九工大)

Organizers

西川博昭 (近大・生物理工)
中村吉伸 (東大院・工)
土屋哲男 (産総研)
金子 智 (KISTEC)
藤原宏平 (東北大・金研)
宮山勝 (東京大学)

